



これからのインターンシップは、どうなる！？どうする！？

# 「インターンシップ3.0」を考える

学生と企業が接点をもつ機会として「インターンシップ※注」や「オープン・カンパニー」が注目されています。企業やインターンシップ等に参加した学生のアンケートからその実態を探ってみます。

※注：経済産業省・文部科学省・厚生労働省による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方（通称：三省合意）」が改定され、令和5年度からは一定の要件を満たすプログラムのみを「インターンシップ」と称し、採用活動への学生情報の活用が認められるようになりました。なおこのレポートでは、改定前にインターンシップと呼ばれていた1dayインターンシップや、短期間の職業体験などを含めた総称表現として「インターンシップ」と記載しています。

## DATA

### 新卒学生向けの採用アプローチ いつからはじめますか？

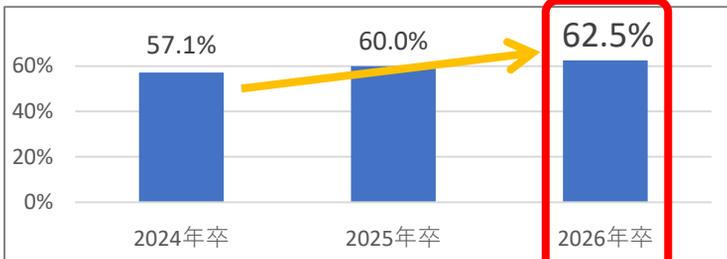
[シゴトバラシバいわて登録企業対象 岩手県内企業による新卒採用活動等に関する状況調査より]

#### 企業は早いうちから、採用活動に向けた準備をはじめています

新卒学生へ求人募集をはじめ「広報活動」の開始時期（3月）よりも前から、アプローチを展開する企業が増えています。

左のグラフの通り、毎年2～3%程度増加していることから、できるだけ早く学生とかわりたい企業の様子がかがえます。

#### 広報活動開始(3月)より前からアプローチを始めている企業 [3か年の推移]



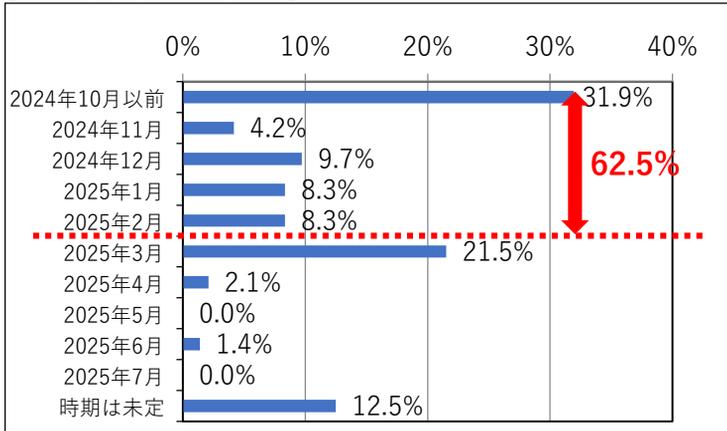
#### 2026年卒学生へのアプローチ

アプローチ開始時期を月別にまとめると、広報活動前（62.5%）のなかでも2024年10月以前から学生にアプローチを始めている企業が3割程度見られます。

最近では「インターンシップに参加した学生には優先的に選考ステップを簡略化」など、早期選考のプロセスのひとつとしても活用されています。

企業の学生に向けたアプローチは今後も同様の傾向が予想されます。

#### 広報活動開始(3月)より前からアプローチを始めている企業 [2026年卒学生に対して]



## COMMENT

### キャリアカウンセラーより：

ジョブカフェいわてでは学生の支援をととして、受け入れる企業の皆さんともコミュニケーションをとります。学生と企業それぞれにインターンシップにおける目的や期待値があるなかで、双方の悩みや課題を把握することでインターンシップをより効果的にできるかもしれません。

### 学生のインターンシップの課題

#### ■目的が不明確になってない！？

とりあえずチャレンジしてみよう！という姿勢は大切。ただ、参加している過程でも、少しずつ目的意識を持ってないと、本来の成果が得られず、時間の浪費になってしまうことも。

#### ■自分を振り返る機会としても活用を。

インターンシップを終えた学生に感想を聞くと、企業の対応やプログラムの面白さばかりに意識が向いてしまう学生も。インターンシップを通じて自分に意識を向けて興味や特性を考えてみるのも大切です。

### 企業のインターンシップの課題

#### ■学生の歓迎ムードが足りない！？

一部の採用担当者へのみの対応になってしまい、他の社員から歓迎されていないマイナスの雰囲気があることも。全社的に学生を受け入れるマインドセットが大切です。

#### ■インターンシップ受け入れは大変！？

通常の業務がある中でインターンシップの受け入れは決して楽ではありません。学生にとって有意義なプログラムとなるよう、現場の業務とのバランスを考えてプログラムを吟味してくれています。



TOPIC 01

【学生の声から】 いつ参加したい？  
インターンシップやオープン・カンパニーに望むことは？

学生が企業に関する情報収集をはじめるタイミングは「1・2年生から早いうちに」「就活をはじめ前の3年生で」など、個人の状況によってさまざま。また、「就職に向けて特定の企業でインターンシップをしたい」のか「社会にはどのような仕事があるのか知りたい」のか、目的もそれぞれ異なります。

学生のみなさんは「将来やりたいこと」「興味のある業界」「働くうえで大事にすること」などを整理しながら企業にコンタクトをとってみましょう。

ジョブカフェいわてがサポートした学生が考える「インターンシップ等に対する希望」

自動車メーカーのモデラー志望です。

ものづくり企業で働く人の技術や感性にふれてみたい



3年生

業種や職種を絞って、自動車メーカなど関連企業に複数参加。

業界理解を深めるプログラム

将来のことはまだ具体的には考えていません。

社員のみなさんと一緒に課題解決するプログラムをやりたい。



2年生

業種問わず、プログラム重視でインターンシップ先を検討。地域の課題解決を実践するプログラムに参加。

課題解決に取り組むプログラム

今のうちから、仕事に役立つ社会人としての心構えを知っておきたいので、企業の方と同じ目線で働きたい。



1年生

料飲部門やイベントの設営などの現場を体験できる、県内のホテルのインターンシップを経験。

仕事体験を中心としたプログラム

大学で学んでいることがどのように社会や仕事にいかせるのか知りたいので、専門分野の経験ができるプログラムに参加したい。



1年生

環境アセスメントの学びに関連する環境調査企業へのインターンシップを開拓。

専門性に特化したプログラム

TOPIC 02

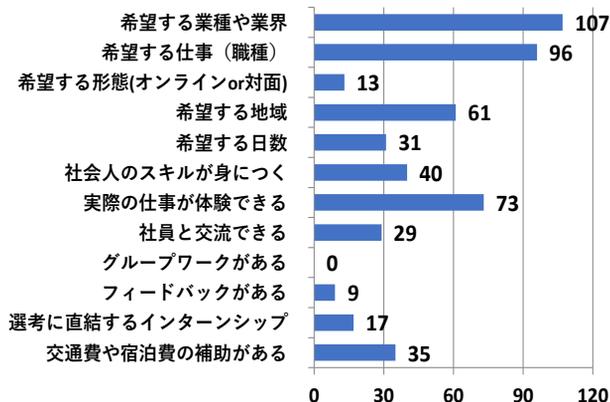
仕事内容、社員との交流など  
どのポイントで参加に後押しされる？

業界研究・企業理解が上位。  
遠方から参加する学生には、  
企業からのサポートが後押しになることも

インターンシップを検討している学生にアンケートで、「重視していること」を聞いたところ、業種や仕事に関する項目が上位となりました。

また、交通費や宿泊費の補助といった、参加する学生へのサポートも決め手のひとつととらえる学生も見られます。

インターンシップ先を考えるうえで重視していること  
(上位3項目まで選択)



令和6年度 岩手県内の大学におけるインターンシップガイダンス参加者を対象としたアンケート (1~3年生245名が回答)

COMMENT

キャリアカウンセラーより：

忙しい学生生活の中でのインターンシップの日程確保、実は大変だったりしますよね。日程が合わずに諦める学生もいらっしゃいますが、企業に問い合わせると学生に日程を合わせてくれる場合もあります。直接確認してみることもお勧めします。

TOPIC  
03インターンシップやオープン・カンパニーで感じた  
- 企業へのポジティブ/ネガティブ感 -

ジョブカフェいわてでのインターンシップ等のコーディネートを利用した学生から、企業の対応について感じたことを聞いてみました。学生の皆さんから積極的に問い合わせたりコミュニケーションをとることで、より効果の高いインターンシップになることが見えています。

## ポジティブに感じたこと

## [プログラムについて]

- 自分のための「個別プログラム」を設定してくれた。
- 社員のみなさんの日常業務を体験させてもらった。
- インターンシップ参加中の自分のことが社内で認識されていた。受け入れに慣れている雰囲気を感じられた。

## [費用面のサポート]

- 昼食は企業の提供があって助かった。
- 交通費・宿泊費の補助制度の利用案内があった。
- 宿泊は社員寮、ホテルから選択できた。

## ネガティブに感じたこと

## [プログラムについて]

- 就業体験する部署で自分のことが共有されていなかった（自分から状況を説明して、業務に入れるようになった）。
- 準備物は早いうちに知っておきたかった。（遠方から移動し宿泊するため）
- 「業務に適した服装で」という指示に、どのような服にすべきか戸惑った。

## [費用面のサポート]

- 社員寮を利用してよいと言われたが「寝具だけある部屋」だったので、洗剤などの日用品は自分で準備する必要があったのだと気づいた。

※ジョブカフェいわてでのインターンシップコーディネートを利用した学生からのヒアリングに基づきコメントを作成

TOPIC  
04チャンスをいかすアプローチ！  
インターンシップ期間中の企業理解を深めるアクションapproach  
1学生から企業へ  
インターンシップ内で実施する  
コンテンツ提案

## [ランチミーティングやインタビューの依頼]

インターンシップ中は接することができない部署の社員とランチを打診。あるいは、20分～30分であればインタビューというスタイルでも調整していただける機会もあるかも！？

インタビューすることで、仕事の話だけではなく、就職活動やキャリアの話など、幅広いインプットが期待できそう。プログラムに支障のない範囲で採用担当者に相談してみましょう。

approach  
2学生同士の  
情報交換は宝の山！？[インターンシップ先やイベント会場でつながった  
学生と継続的な情報交換を！]

同じインターンシップ先で接点を持った学生とインターンシップ中や、終了後に振り返りのセッションを持ちましょう。同じ企業のプログラムでも視点や感じ方の違いで気づかなかったこともシェアできそうです。また、継続的につながることで、互いに励まし合ったり、刺激になるだけでなく、就職活動中の貴重な情報源になります。

## ■ インタビューの例 ■

- ・記憶に残る仕事のエピソード
- ・自社の魅力を感じる点
- ・この会社でのこれからのキャリア
- ・これから勉強したいこと
- ・学生時代の就職活動

※できる限り複数の世代にインタビューしたいですね

## ぼくらのシューカツファイル

ジョブカフェいわてにおいて支援をおこなった学生の実際のインターンシップや就職活動の様子を紹介。※閲覧を希望する方はお問い合わせください（URLをお知らせします）



TOPIC  
05どうやって見つけた？やってみてどうだった？  
体験談からみるインターンシップ

## CASE 1

「やりたいこと」が明確！  
複数の企業のインターン参加で、  
さまざまな角度から仕事を掘り下げ。



Aさん

#大学3年生 #やりたいことが明確 #ものづくり

**PROFILE** | デザイン工学（プロダクトデザイン）を学ぶ大学3年生。幼少期から「ものづくり」が大好きで、高校は工業高校の機械科を選択。自動車のクレイモデラーとして働くのが夢で、インターンシップでは自動車業界を中心に複数参加。

## 大学3年生6-7月 情報収集&amp;エントリー

## 情報収集の視点：

- ・自分の夢の「クレイモデラー」につながるようなインターンに参加したい
- ・モノづくりに関わる「職人こだわり」にふれたい
- ・エリアは全国どこでもOK

## 情報収集やエントリーの方法：

- ・ナビサイトからのエントリー（4社）  
※大手メーカー各社のプログラムにエントリー  
※選考を経て2社のプログラムに参加が確定
- ・いわてU・Iターンサポートデスクの個別コーディネートを活用（2種）  
※県内にある製造業1社と、県内のアパレル業界でのパッケージ型インターンにエントリー

## 大学3年生8-9月 3社のインターンシップ参加

A社：東京本社の手動自動車メーカー  
B社：静岡県本社の手動自動車メーカー  
C社：自動車プロトタイプ的设计・製造を手掛ける県内の事業所（本社：東京都、工場：岩手県内）

どの企業もそれぞれの学びがあり参加できてよかった。

A社は「受け入れ慣れている」

B社は「至れり尽くせり」

C社は「とにかく真剣に自分に向き合ってくれた」

という印象。なかでも、C社からは「ぜひ応募も考えてほしい」と言ってくれ嬉しかった。

インターンで得た経験や自分の希望を整理し就職活動中

## CASE 2

インターンシップは幅広く体験。  
実施後のやりとりで志望度が変化し、  
県内企業への入社を決意。



Bさん

#大学4年生 #仕事内容・エリアを問わず幅広く就活

**PROFILE** | 進学で岩手から県外大学へ（文学部）。将来は「政令指定都市」で暮らすイメージで就活をスタート。インターンシップでは、業種・職種やエリアを限定せずに幅広く情報を収集し十数社のプログラムに参加。インターンで出会った県内企業に内定し入社をひかえている。

## 大学3年生4月 「民間企業」での就活に絞ることを決意

## 大学3年生6月 ナビサイトへの登録から就活スタート

## インターンシップの情報収集&amp;エントリー

情報収集の方法：ナビサイト  
大学のインターンシップ説明会

重視したこと：働く場所を最重要視（東京・大阪を除く全国の政令指定都市を希望）

+ 情報収集のために県内企業にもエントリー

## 大学3年生8-9月 インターンシップに参加

- ・十数社のプログラムに参加 ※1dayやオンラインも含む
- ・参考になったプログラム：  
課題解決ワークができた、若手社員の話が聞けた  
県内企業C社の担当者とのやり取りが就活の参考に

参加後：インターンシップ参加企業数社とやりとり

## 大学3年生11月頃～ 3社の早期選考にチャレンジ

担当者とのやりとりを通して  
県内企業C社への志望度がさらにアップ

大学3年生3月 県内企業を含めて複数の内定を獲得  
→C社への内定を承諾

[担当者やほかの内定者とのコミュニケーション]

## 大学4年生3月 卒業（C社へ入社予定）

## [参考] シゴトバクラシバいわて



岩手県の公式就活サイト。

利用登録すると、企業情報、求人情報、インターンシップ募集情報などの閲覧が可能。

※利用登録：無料

<https://www.shigotoba-iwate.com/internship/>



## ジョブカフェいわて

〒020-0024 盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル5階 Tel. 019-621-1171

ジョブカフェいわては、岩手県が運営している若者のしごと・就職のサポート施設です。